

第5学年1組 学級活動(1)指導案

令和元年10月15日(火) 第5校時
在籍児童数 28名
場所 5年1組教室
指導者 教諭 樋田陽介

1 議題 「北小フェスティバルの出し物を決めよう」 (ウ 学校における多様な集団の生活の向上)

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級は男女分け隔てなく接することができ、素直な児童が多い。その反面、小集団を形成し、固定した友達としか関係を築くことができない児童もあり、他者との人間関係が希薄であると感じられる。また、自分の意見に固執する児童や、自分の意見をもたずに他者の意見に合わせるという児童も見受けられる。

学級活動(1)については1学期にオリエンテーションを行い、扱う議題の条件や、進め方について共通理解を図った。その後「令和集会をしよう」「クラスの歌を作ろう」「クラスのキャラクターを作ろう」などの議題で話し合い、実践を積み重ねてきた。これらの活動を通して、協力することや一つの目的に向かって取り組むことの楽しさや充実感を味わうとともに、少しずつ学級会の進め方についても身に付けてきた。しかし、「自分の考えに自信がない」「上手く理由を説明できない」などの理由から発表することに消極的な児童もいる。そのため、話し合いが数人の活発な児童の意見によって進んでしまうという傾向もみられる。また、比べ合う視点が曖昧になり、自身の好みによる話し合いになりがちである。

そこで本時では、自分の意見をしっかりとをもって学級会に臨むとともに、比べ合う視点を明確にした上で意見を発表できるように指導していきたい。

(2) 議題選定の理由

本議題は、11月2日(土)に行われる「北小フェスティバル」に向けたものである。今年度の北小フェスティバルのテーマは「みんなで助け合い、たくさん学んで楽しい北小フェスティバルにしよう」である。テーマに沿ったクラスの出し物が決定できるようにしていく。その中で、他学年や地域の方等が楽しんでもらえるという相手意識の視点を大切にしながら、児童が協力して取り組むことの楽しさを味わうことができるようにする。

また「テーマを達成する出し物を何にするか」「来てくれた人に楽しんでもらうために、どのような工夫をするか」「役割分担をどうするか」という3点について、一人一人の意見を大切にしながら協力して計画を立て、実践できるように指導していく。北小フェスティバルを通して、協力してよりよい人間関係を築くとともに、相手意識をもつことの大切さを知り、学級への所属感や、自己有用感を高めていけるようにしていきたい。

3 第5学年及び第6学年の評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。	学校・学級生活の充実・向上のための課題を考え、話し合い、集団としての解決方法を、合意形成を図って決定している。	生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。

4 事前の活動

【計画委員会の活動】

日時	児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
10月3日(木) 昼休み	・代表委員会からの提案をもとに提案理由を練り上げる。	・北小フェスティバルのテーマやねらいを明らかにした提案理由になるようにする。	◎よりよい学級生活のために、進んで提案理由の練り上げをしようとしている(主体的に取り組む態度)【観察】

10月4日(金) 業間休み 昼休み	- 活動計画と学級会ノートを作成する。 - 進行の仕方を確認する。 - 学級活動コーナーに学級会の内容を掲示する。	議題や提案理由をもとに、本時のねらいに合った話合いのめあてを立てることができるようにする。	◎計画委員会の役割、学級会の進行の仕方等を理解している。(知識・技能) 【活動計画・観察】
10月8日(火) 10月9日(水) 業間休み 昼休み	- 全員の学級会ノートに目を通す。 - 話合いの流れを確認する。	- 話合いの見通しがもてるようにする。 - 必要に応じて短冊に記入する。	

【学級全員の活動】

日時	児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
10月3日(木) 帰りの会	議題を確認する。	計画委員会の提案をもとに全員で決定する。	
10月7日(月) 帰りの会	提案理由や話合いのめあてを踏まえて、自分の考えを学級会ノートに記入する。	議題や提案理由、話合いのめあてについて共通理解を図った上で、自分の考えを記入させる。	◎北小フェスティバルのテーマに合った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる(思考・判断・表現) 【学級会ノート】

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

学級生活をより楽しく豊かなものにするため、相手の立場や少数意見に配慮しながら、来てくれた人が楽しめる出し物の内容や工夫を考えることができるようにする。

(2) 教師の指導計画

話合いの順序	○指導上の留意点	◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
1 はじめの言葉	○大きい声で言えるように励まし、自信をもたせる。	
2 歌	○児童といっしょに元気に歌い、温かい雰囲気の中で、話合いが始められるようにする。	
3 計画委員会の紹介	○計画委員会に本時のめあてを言わせることで、役割意識を自覚させるようにする。	
4 議題の確認	○提案者の思いや願いを深め、学級全員で話し合うという意識をもたせる。	
5 提案理由の説明	○本時の話合い活動のよりどころとなるものなので、改めて確認させ、しっかり意識しながら話し合えるようにする。	
6 めあての確認	○めあてに沿った話合い活動ができるように助言する。	
7 決まっていることの確認	- 決まっていること - 日時…11月2日(土) - 場所…教室 ・時間…前後半50分間ずつ - 準備に使えるのは授業の2時間と休み時間 - 道具は手作り ・ごみは2袋まで	
8 先生の話	○提案理由やめあてを意識させるとともに、話合いへの意欲を高められるようにする。	

9 話し合い 柱①出し物の内容 柱②楽しんでもらえる工夫 柱③役割分担	○司会が困っているときや、話し合いの方向がずれたとき、自治的活動の範囲を超えそうとき等は積極的に助言し、児童の意欲が損なわれないようにする。 ○学級会ノートをもとに自分の考えが理由をつけて発表できるように助言する。 ○児童の案はあらかじめいくつか整理して掲示しておく、より深い話し合いになるようにする。 ○発言者が偏らないよう、できるだけ多くの児童が発表できるように助言する。 ○安易に多数決をとらず、少数派となった児童にも発言の機会を与えるよう助言する。 ○自分の考えに固執せず、友達の意見を聞いて納得した上で考えを変えるなど、折り合いをつけることも必要であることについて助言する。 ○これまでの北小フェスティバルの経験をもとに、必要な係については事前に短冊を用意しておく、新しくつくる係について話し合う。	◎提案理由を踏まえて、ねらいに合った内容や工夫、役割について考え、発言したり、友達の意見を参考にして新たな意見や折衷案を考えて発言したりしている。 (思考・判断・表現) 【観察・学級会ノート】 ◎前回までの話し合いの経験を生かして、合意形成を図るための方法や留意点を理解している。 (知識・技能) 【観察】
10 決まったことの発表 11 振り返り 12 先生の話 12 おわりの言葉	○ノート記録の発表に不足がある場合は助言する。 ○自己評価とともに、友達のよかった点など相互評価ができるよう助言する。 ○提案理由や全体を意識した発言等を称賛するとともに、今後の課題を伝える。 ○計画委員をねぎらうとともに、実践への見通しをもたせ、事後の活動への意欲が高まるように言葉がけをする。	

6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点) 【評価方法】
10月16日(水) 帰りの会	- 決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 - 役割分担が決まっていなければ、係の役割分担をする。	- 計画委員は、決まったことを学級会コーナーに掲示しておく。 - 一人一役として、全員が係に所属し、全員で協力して活動できるようにする。	◎自分の役割に進んで取り組み、友達と協力して準備に取り組んでいる。 (主体的に取り組む態度) 【観察】
10月17日(木)～31日(木) 業間休み 昼休み 11月1日(金) 5・6時間目	- 係ごとに具体的な活動計画を立て、協力して準備を行う。 - 活動計画をカレンダーに記入し、掲示する。	帰りの会等で、進捗状況を確認し、互いの取組を認め合うことで、意欲の持続化を図る。	◎めあてを意識しながら友達と協力して、実践している。 (思考・判断・表現) 【観察】
11月2日(土)	- 北小フェスティバルを行う。 - 終了後、感想を記入する。	- ねらいを確認し、協力して実践できるようにする。 - 実践後にめあてにもとづいた振り返りを行い、互いのよさや頑張りに気づくことができるようにする。	◎めあてに関わる感想や、友達の頑張っていたこと、よさについて振り返りカードに書いたり、発表したりしている。 (思考・判断・表現) 【観察・振り返りカード】

議題 北小フェスティバルの出し物を決めよう

提案理由

今年の北小フェスティバルのテーマは、「みんなで見かけ合おう」
とあって、楽しい北小フェスティバルにしようです。このテーマを達成
できるように、みんなで力を合わせ、出し物を考え、決めて、実行に

めあて	話し合いの順序(時間)	気をつけること・メモ	自分の意見と理由
1 はじめの言葉	2 計画委員の紹介 3 議題・提案理由・めあて 決まっていることの確認	・みんなに伝わるように言う ・めあてを発表する ・提案者()さん	柱①
2 計画委員の紹介			【意見】
3 議題・提案理由・めあて			【理由】
4 先生の話	5 話し合い 柱① 出し物の内容 (15分) 柱② 楽しんでもらえる工夫 (15分) 柱③ 役わり分たん (5分)	話し合い進め方 柱① 班で力を合わせる ことができる内容に 決定する 柱② 準備の時間も 考えて決める 柱③ 全員に役わりが あるようにする	柱②
5 話し合い			【意見】
柱① 出し物の内容 (15分)			【理由】
柱② 楽しんでもらえる工夫 (15分)	6 決まったことの確認 7 ふりかえり 8 先生の話 9 終わりの言葉		柱③
柱③ 役わり分たん (5分)			【意見】
6 決まったことの確認			【理由】

○学級会に向けた自分のめあて

○学級活動をふり返ろう!

【学級会】 がんばったこと、次回の学級会でがんばりたいこと、友達のおかげでよかったことを書こう!

○活動に向けた自分のめあて

○自分の役割

【活動をしてみて】 めあては達成できたか、何をがんばったのかなどをふり返って書こう!

【次回に向けて】 これからの学級活動でがんばりたいこと、やってみたいことを書こう!

